

はえばる 議会だより

平成24年
9月定例会
No.179

平成24年11月22日発行



特集

平成23年度 決算認定

1年間の成果をふり返って

米兵による暴行致傷事件に抗議

信号機設置を直接要請

条例改正・補正予算

委員会レポート・視察受入

オスプレイ配備に反対 町民大会

13人の議員が一般質問

2

5

6

8

10

11

写真：大城幸司さん（字本部）
「毎月恒例！花木香るかすりの道美化
かすりロード盛り上げ隊」

題字：新垣しいなさん（字与那覇）

歳出110億円

全会一致で認定

9月定例会

定例会は9月10日～10月1日の25日間の会期で開かれ、平成23年度決算を中心に審議しました。

本会議に稲福清代表監査委員を招き、決算審査の報告を受けました。現場調査や各委員会の審査結果を連合審査会でまとめ、本会議に諮りました。

「収入確保の努力は十分か」「町の発展と福祉の向上のため効率化は図られたか」等の視点から今後の行政運営に生かすよう意見を付け、6会計すべてを認定しました。

(監査委員の審査意見は町HPに掲載、議会の意見は4頁に掲載しています)

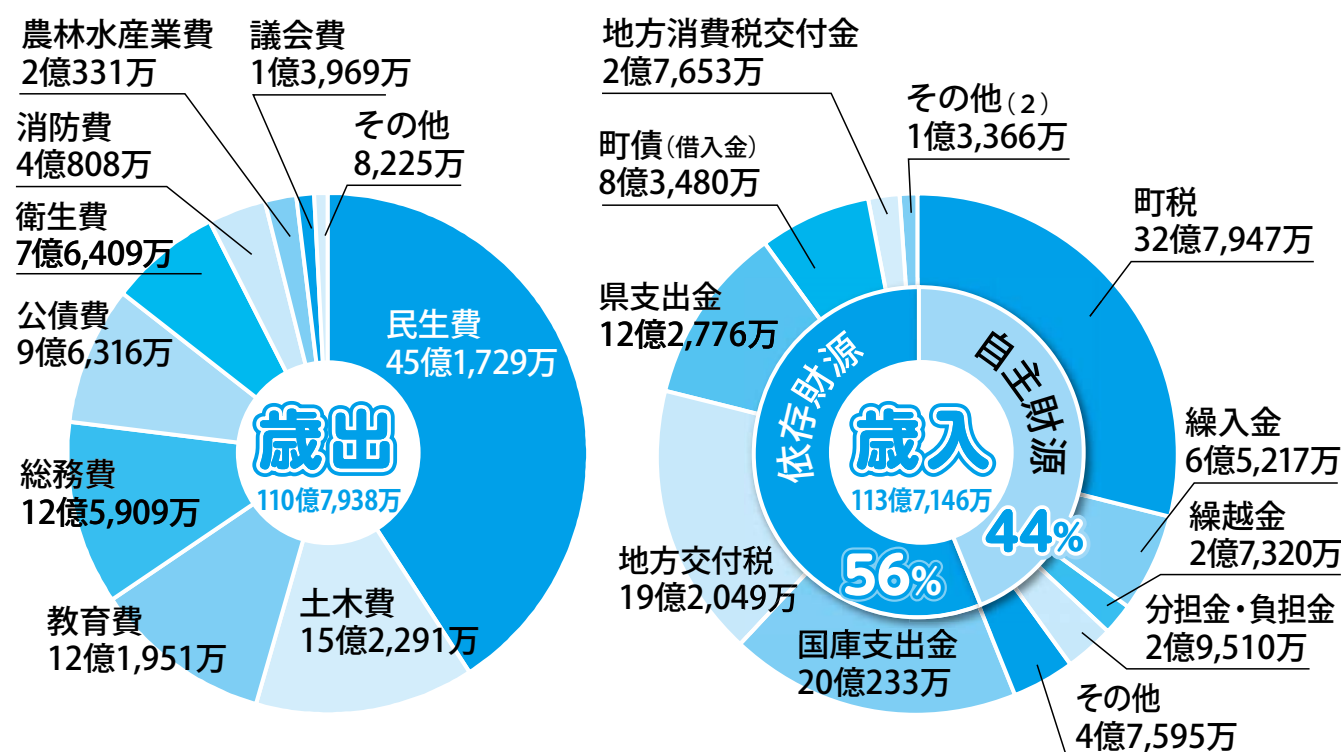
一般会計は黒字決算

○歳入：自主財源は町税等の増で、前年度に比べ、7億2千万円(17%)増です。依存財源は16億1千万円(△20.2%)減となっています。

○歳出：公園整備や宮平学校線街路事業、町道47号線改良など生活環境整備事業が実施されました。また、医療費助成や教育支援、スポーツ大会実施など町民生活に密着した施策が推進されました。

歳入113億円

平成23年度 一般会計決算



用語の説明

歳入	町税	みなさまからの税金
	繰入金	町の預金を下ろして使う金額
	国・県支出金	使う目的が決まっている国や県からの補助金
	地方交付税	自治体運営の均衡を保つため国から配分される金額
	町債	町の借金
歳出	民生費	お年寄りや児童福祉、保育所の運営など
	土木費	道路や公園の整備など
	教育費	学校教育や生涯教育など
	総務費	職員の人件費や役場全体の管理など
	公債費	借金の返済
	衛生費	ごみ処理や予防接種など

〈平成23年度 一般会計〉

町民1人あたり 約31万円使いました。

(平成24年3月31日現在人口 3万5,591人)

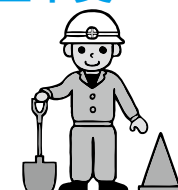
その内訳は…

●民生費



126,922円

●土木費



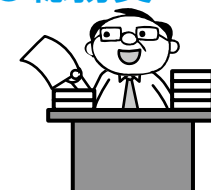
42,789円

●教育費



34,265円

●総務費



35,377円

●公債費



27,062円

●衛生費



21,469円

●消防費



11,466円

●農林水産費



5,712円

決算

一致で
全会認

平成23年度の一般会計・特別会計
決算に意見を付けて認定しました。

一般会計

○地方交付税について

基準財政収入額の算定誤りで地方交付税が大幅の減となった。業務マニュアルとチェック体制等の整備をし、再発防止の徹底を図りたい。
※減額分は平成24～26年の3年間で全額補われる予定。

○商工振興費報酬について

商工業振興審議会が開かれていない。審議会は地域経済の発展に寄与することが目的である。商工業の振興に必要な事項について早急に諮問するよう努められたい。

○学校給食収入について

滞納繰越分について平成11年から19年までの未納世帯別明細の実態把握を速やかに行うこと。

土地区画整理事業特別会計

○津嘉山北土地区画整理事業の津嘉山中央線で、下水道計画があるにもかかわらず道路の面整備が実地されている。共に調整すべきである。

◆各会計別の決算◆

会 計	平成 23 年度	平成 22 年度	増 減 額	増 減 率
一般会計	110 億 7,938 万円	119 億 9,653 万円	▲9 億 1,715 万円	▲7.6%
国民健康保険	43 億 2,928 万円	41 億 4,898 万円	1 億 8,030 万円	4.3%
後期高齢者医療事業	1 億 7,777 万円	1 億 7,277 万円	500 万円	2.9%
老人保健	—	64 万円	▲64 万円	皆減
下水道事業	6 億 6,101 万円	6 億 9,203 万円	▲3,102 万円	▲4.5%
土地区画整理事業	13 億 4,311 万円	12 億 2,810 万円	1 億 1,501 万円	9.4%
農業集落排水事業	3,518 万円	2,656 万円	862 万円	32.5%
全会計合計	176 億 2,573 万円	182 億 6,561 万円	▲6 億 3,988 万円	▲3.5%

※平成20年4月から後期高齢者医療制度が始まり、老人保健医療制度は廃止となりました。

現場調査

決算認定審査にあたり、議員全員で現場に出向き、平成23年度の事業結果を調査しました。

本部公園・黄金森公園整備や土地区画整理、はえばる保育園増改築などこれまでの経緯や今後の運用について直接説明を求めました。

文化センター前店舗棟については、具体的な活用がなされていないことから、早急に町民ニーズに合った活用をするよう指摘しました。

資料や図面だけでは分からないことを、確認し、より理解を深めました。



9月定例会及び10月臨時会で二度にわたり決議！

米兵による女性暴行致傷事件に関する抗議決議 全会一致で可決

【背景】

8月18日未明、那覇市内で、在沖米兵による強制わいせつ致傷事件が発生しました。さらに、10月16日未明、本島中部で補給業務のために沖繩入りした米兵2人が、グアムに移動する当日に暴行事件を起こすという卑劣極まりない犯罪が起こりました。

復帰後、米兵等による犯罪は、平成23年12月末時点で5千747件。度重なる事件は後を絶たず、悪質さを増しています。

また、オスプレイを強行配備した日米両政府への反発が強まる中での犯罪であり、怒りと不信感が頂点に達しています。

人権、生命、財産を守るため、9月定例会と10月30日臨時会で抗議決議と意見書を可決しました。

【要請事項】

一 加害者に対する厳正な処罰と被害者への完全補償と心身のケアを行うこと。

二 米軍人・軍属等の徹底した綱紀粛正及び人権教育のあり方を根本から見直すこと。

三 米軍関係者の優先を保障する不平等な「日米地位協定」の抜本的な見直しを行うとともに、基地の整理縮小・返還を促進すること

【提出者】

浦崎みゆき（9月定例会）
宮城 寛諄（10月臨時会）

【あて先】

米国大統領、米国防長官、米国務長官、駐日米国大使、在日米軍司令官、在日米軍沖縄地域調整官、在沖米国総領事



信号機設置に関する意見書

全会一致で可決（10月30日臨時会）

事故防止のため、通学路である3交差点に早急に信号機を設置するよう意見書・決議を可決しました。11月9日、関係機関へ出向き直接要請しました。

一 県道128号線と町道18号線との交差点（津嘉山保育園付近）

二 宮平学校線と町道4号線との交差点（宮平保育所付近）

三 国道507号バイパス（津嘉山バイパス）と津嘉山西線（都市計画道路）の交差点



喜納県会議長に要請書を直接提出しました。

提出者：大城 毅

あて先：沖縄県議会議長・沖縄県知事
与那原警察署長・沖縄県公安委員会委員長

議案

全会一致で可決

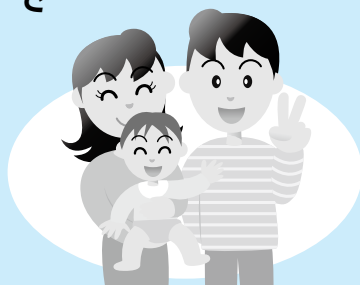
9月定例会で提出された議案は、すべて
原案のとおり全会一致で可決しました。

こども医療費助成条例
所得制限を廃止

条例を一部改正し、
平成24年10月診察分
より所得制限を廃止

- 助成対象年齢
- ・通院：満4歳の誕生日まで
- ・入院：中学校卒業まで
- 入院時食療養費↓半額助成

こども課 88917028



退職手当負担金
引当基金条例
新たな負担金追加

職員退職手当支給事務を共同処理してい
る沖縄県市町村総合事務組合に対し、町は
負担金を支払っています。

団塊世代の退職が増えたことによる退職
手当の不足を補うため、新たに「調整負担
金」が加わるため、一部条例を改正します。
(期間は平成24～26年度)

補正予算

全会一致で可決

平成24年度一般会計補正予算は、
歳入歳出それぞれ6億7千585万円減額し、
総額121億3千681万円としました。

一般会計補正の主な内容	補正額
歳入	
地方交付税	4億3,139万円
県支出金	2億1,466万円
繰入金	▲1億317万円
歳出	
ていだ保育園改築補助金	1億8,874万円
介護老人福祉施設開設準備・整備補助金	3,289万円
証明書自動交付機及びコンビニ交付システム構築委託料	2,022万円

特別会計の補正	補正額
国民健康保険	▲1,566万円
下水道事業	244万円
土地区画整理事業	401万円
農業集落排水事業	2,258万円



農業集落排水事業で、神里污水处理施設に太陽光パネルを設置します。

9月補正分一括交付金

町の配分6億6千万円内諾！

一括交付金(沖縄振興特
別推進交付金)はこれまで
に提案・提出した79事業
のうち、57事業の内諾を
得ました。その中から、
今回、補正予算に提案さ
れた事業を紹介します。

教育・福祉

教育相談支援

(計画額：231万円)

不登校等問題を抱える児童生
徒や保護者の対応をする相談
員の報酬や謝礼金

中学校外国人英語指導
助手配置

(計画額：220万円)

中学校に外国人英語指導助手
を配置(JETプログラム除く)

預かり保育事業

(計画額：586万円)

幼稚園預かり保育臨時職員賃金

省エネ施設推進事業

(計画額：2千423万円)

宮平保育所、ちむぐる館、小
中学校へ断熱フィルムを施工等

観光

食と観光全国へ発信

(計画費：1千214万円)

食品成分表に掲載されていない
地域食材の栄養価等を掲載し
た町民・観光客向けパンフレットを
それぞれ作成

物産と食開発プロジェクト

(計画額：398万円)

「ふえーばる物産展」の実施

動く広告塔

(計画額：373万円)

決定した町のマスコットキャラク
ターを活用し、バイクのオリジナル
ナンバープレート作成

文化

観光・文化等サイン事業

(計画費：5千300万円)

訪れやすいまちを目指し、観光・
文化施設等に案内板を設置

伝統文化交流施設
活性化事業

(計画費：3千691万円)

中央公民館ホールに張り込みス
クリーン、プロジェクター、舞台パト
ン、音響・証明設備導入

農業振興

地域農業活性化事業

(計画費：2千690万円)

へちま農家の強化型パイプハウス
設置に対し、80%補助

農業生産体制強化事業

(計画費：1千万円)

長堂川管理道路の一部(字山川)
が未舗装であり、運搬の際、農作
物に傷が付くため舗装し、振興
を図る

一括交付金内諾状況 (9月現在)

南風原町	事業費	交付金額
配分予定	8億2,500万円	6億6,000万円
内諾分	8億2,874万円	6億6,299万円

※事業費の80%が交付金額となります。

特集
委員会
レポート

議案を深く審査するため、必要な書類・資料を求め、所属委員会において質疑をしました。

総務民生委員会

委員長…宮城清政 副委員長…上原喜代子
委員…玉城光雄・赤嶺雅和・花城清文
金城好春・大城毅・浦崎みゆき

ていだ保育園改築

問 広さはどうなるか。

答 現在の延床面積は、405㎡で、改築後は851㎡になる。

問 改築後、認可保育園全体の定員は。

答 ていだ保育園の改築で、定員は30名増え、平成26年度に定員1千260名になる。

地域密着型介護施設の建設

問 どのような施設か。

答 津嘉山児童館裏手に定数25名の小規模多機能型居宅介護施設を予定している。

問 利用の条件はあるか。

答 要支援1～要介護5の町民が対象。介護保険の適用で1割が本人負担となる。

本部公園トイレ改修

問 グラウンド側にトイレを新設したが、既存トイレはどうするか。

答 遊具側利用者のため改修し、引き続き活用する。

問 既存トイレを洋式にする際、子ども用便座を付けられないか。

答 検討する。



本部公園既存トイレ

経済教育委員会

委員長…知念富信 副委員長…赤嶺奈津江
委員…照屋仁士・大城信彦・宮城寛諒
玉城勇・大城真孝

花・水・緑の大回廊公園

問 高速道路の耐震工事にともなつて、パークゴルフ場が使用できないというが、いつから利用できるのか。

答 国道工事完了は11月末を予定している。その後、パークゴルフ場の芝の復旧を行う。そのため、12月末までは使用できない状況である。

問 耐震工事の今後の予定は。

答 平成26年度まで行われる。スポーツ広場も足場を組んで上部の補強を予定している。工事の進捗状況にあわせて、使用できない時期を調整する必要がある。

町立図書館

問 現在の図書数は。

答 2万2千366冊である。

問 全国紙はあるか。

答 すべての新聞を揃えるのは予算的に厳しい。日本経済新聞と毎日新聞を設置している。

●開館

平日…10時～19時

土日…10時～17時

●休館日…火曜日・祝日

第4木曜日

88916400



町立図書館

議会活性化調査特別委員会

議会基本条例の制定をめざして
積極的な調査・研究と視察受入

委員長…照屋仁士 副委員長…赤嶺奈津江
委員…赤嶺雅和・知念富信・宮城清政
金城好春・大城毅

第17回委員会（10月23日開催）

町民目線に立った議会改革と基本条例の策定をめざして活動しています。今委員会では左記のとおり審議しました。

●議会基本条例の制定

・平成25年9月を目標に議案を提出する。
・町民を対象とした講演会を実施する。

●町民の意見を聴く機会を

・町民アンケートや各種団体との意見交換会を実施したい。まずは区長会との意見交換を持ちたい。
・議会活動報告会での意見を反映させる取り組みをする。



広島県大崎上島町議会との意見交換会

県外議会の視察受入

県外の議会が研修のため本町を訪れ、議会活性化に向けた取り組みや議会運営について意見交換をしました。

●愛知県伊予市（8／22）

・議会運営上の改革点

●広島県大崎上島町（10／31）

・議会基本条例制定の取組

議会広報委員会

これからの議会広報を考える
県外議会広報委員と意見交換

委員長…金城好春 副委員長…知念富信
委員…照屋仁士・大城毅・浦崎みゆき
上原喜代子

福岡県福津市議会の議会広報調査特別委員会が8月20日に本町議会広報委員会を訪れました。

お互いの議会広報を持ち寄り、紙面づくりを充実させるために意見交換をしました。

●議会広報の共通点

住民の目線で編集し、グラフィや写真等で視覚的にアピールしています。

●福津市から学ぶこと

議会クイズや表紙にテーマを決め連載するなど議会に興味を持つよう工夫がされています。



福津市と南風原町の議会広報委員

●本紙が評価されたこと

行政用語を分かりやすい表現にしていること、一般質問の写真を議場で撮影して臨場感があること、定例会前などに各自治会掲示板に掲示する「臨時号」などが参考になると意見がありました。

県内初

9・14南風原町民大会

オスプレイ配備に反対する



配備撤回を求める行動の継続を誓い、ガンバロー三唱

オスプレイ配備に反対する南風原町民大会が9月14日、町立中央公民館で開かれました。

オスプレイの配備、その飛行経路に本町の上空が含まれることに怒りの声をあげようと市町村単位で初めて開催しました。

本町議会も、町民の生命、安全、生活環境を守る立場から、平成23年9月に「普天間飛行場へのオスプレイ配備計画に反対する抗議決議・意見書」を日米両政府に提出しています。

9月9日の県民大会にも多くの議員が参加し、オスプレイ配備に抗議しました。



配備反対を訴え町民約600名が参加

町民大会では、全議員が町民と一緒にあって、基地のない平和なまち南風原から「沖縄の空にオスプレイはいらない」という決意を発信しました。

配備計画の撤回と普天間飛行場の即時閉鎖を求める大会決議のもと、町民大会実行委員会と共に壇上に上がり、「継続して反対の意志を示そう」と拳を突き上げました。

議会改革の課題と一括交付金を学ぶ

沖縄県町村議会議長会主催の議員研修会が10月25日にありました。

住民福祉の向上、地域経営の軸に沿った議会のあり方を学びました。また、一括交付金事業についても、再確認しました。



住民自治と議会改革をテーマに山梨学院大学の江藤俊昭教授が講演。議員は町の議会活性化の必要性を再認識しました。

施策を問う、ここが聞きたい



花城 清文 議員

幼稚園教育の充実と各園に園長の配置を

問 これまで、専任の園長を各園に配置すべきと要望してきたが、町長は保育時間の延長、給食の提供と一緒に考えると答弁している。保育時間の延長によって、預かり保育時間は短くなるが、保護者の負担はどうなるか。

教育長 保育時間は午後2時まで延長し、給食も提供する。専任園長は各園に配置できるような努力する。給食は月額3千円を予定しているので継続して預かり保育を希望する場合、昼食代が今までより軽減される。

問 国は幼保一体で幼児教育の推進に努めるとしている。専任の園長配置、保育時間の延長、給食の提供は国の動向を見て実施してはどうか。

教育長 今回の3事業は町の「幼稚園のあり方検討委員会」の方針を受け、改革する

ものである。国が推進している総合こども園については県内の動向を踏まえて検討していく。

町長の新聞コメントを問う

問 一括交付金で信号機を設置するとあるが、これは県公安委員会の事業である。その許可は得たのか。また、今回の信号機設置はこれまでの行政運営と違うが矛盾していないか。

町長 指摘のとおり、制度上できない。しかし、県は補正予算を計上し、県内に信号機を増設することになった。

新川区の下水道整備を

問 新川は建築ラッシュで下水道の敷設が急務である。一括交付金を活用し、整備でき



真和志高校近く的那覇市真地に抜ける私道

ないか。
経済建設部長 一括交付金は活用できないが、平成27年度完了で進めていく。

町道認定を求める

問 新川43番地に和食店があり、その横に真地に抜ける私道がある。その私道を地主の許可が得られたら、町道に認定してほしいがどうか。

町長 地権者の理解が得られたら町道に認定する。

南星中学校の 体育館補修を早急に



上原 喜代子 議員

問 南星中学校体育館天井の改修工事はいつ着工するのか。

教育長 新たな補助事業を活用して平成25年度内で改修を完了させたい。

問 整った環境での教育が最も重要と考えるが、なぜ今まで整備ができなかったのか。

教育長 見積額が約2千万円となり、費用がかかりすぎることから、予算措置ができなかった。



天井に穴のあいた状態(南星中学校の体育館)

文部科学省のいじめに関する取り組みは

問 「いじめ、学校安全等に関する総合的な取組方針」について、国の体制強化をどう考えていくのか。

教育長 この方針は国としての取り組みである。本町として具体的に事業化するかまでは検討が進んでいない。

問 本町におけるいじめの実態はどうなっているか。国の方針が決まったことでその件数にも違いがあるか。

教育長 昨年度、教育相談室に寄せられたいじめ相談は小学校で8件、中学校で10件。学校では、定期的にアンケートや職員間の情報共有も十分にされ、発見の件数が多くなる可能性もある。解決に向けて取り組んでいく。

問 教育委員会の体制にも何らかの変化があるか。

教育長 いじめに関しての対応や今後の方針を一本に絞って審議し、町民に周知する必要があると思う。

●教育相談室(ちむぐくる館内) 889-10501

武道必修に対応する指導を

問 体育活動における指導体制は教員の研修会や講習会等のみで十分か。空手の精神面まで指導も考え、外部指導者も取り入れた必修科目にできないか。

教育長 学校支援地域本部事業において、今後そのあたりも検討していくことは可能かと思う。

●公園事業に町民の声を(健康づくり・雇用対策・香木の植栽など)

ストレリチアの青枯病対策を問う

問 今、ストレリチアに青枯病と思われる立ち枯れが広がっている。生産農家も途方に暮れている現状である。防除用農薬に対して補助ができないか。

経済建設部長 ストレリチアは疫病等による立ち枯れの発生が問題となっている。安定生産・安定出荷のため早急な対応が必要である。そこで、平成20年7月26日に南部地区営農センター主催で現地検討会が開催された。立ち枯れの原因究明のため7種類の農薬を使った実証試験が行われた。今後、実証試験の状況、効果等の報告を受け、農薬に対する補助等を今後検討したい。

●津嘉山小学校の運動場整備を

津嘉山区内の 雨水幹線ルート 変更計画を問う



金城 好春 議員



大雨で冠水する津嘉山十字路までの道路

問 県道128号線の真下に設置されている雨水幹線は、どのようなルートに変更するか。

経済建設部長 変更箇所は津嘉山392番地から津嘉山自動車学校までの区間となっている。

問 新たに設置する雨水幹線は、今の雨水幹線より大きく造る計画はあるか。

経済建設部長 計画は2.5m×2.5mとなり、現状断面より1.7倍程大きくなる。自動車学校横排水路の変更計画は、ボックスカルバートで3.5m×2.5m、現況断面より1.6倍程度大きくなる。

問 JA津嘉山支店Aコープ付近から津嘉山十字路まで、大雨のたびに道路が冠水する。ルート変更による影響で今以上に水かさが増大しないか。

経済建設部長 計画では、1.2mのヒューム管で上流域を取り囲む計画となっている。末端側の既設排水路の流量は減るため、心配されている区間の道路冠水は改善される。

ウルトラマン・飛び安里でまちおこしを



知念 富信 議員

問 本町はウルトラマンの生みの親、金城哲夫氏生誕の地である。それを観光資源として取り組んだか。

経済建設部長 ウルトラマンを観光資源に活用した取り組みは行っていない。過去に那覇市でウルトラマンのイベントがある際に約4mのウルトラマンティガを役場前に展示した経緯がある。

問 商工会と連携してイベントを企画できないか。

経済建設部長 商工会地域観光まちづくり推進室ができた事により、ウルトラマンを活かしたまちづくりの話が再燃してきたので、商工会や賛同する企業と一緒に取り組みを始める予定である。

問 飛び安里を全国に発信して、観光資源に取り組む考えはないか。

経済建設部長 観光資源として商工会地域観光まちづくり推進室とともに検討していく。

問 津嘉山区で実行委員会を立ち上げて取り組んだ経緯は。まちづくり振興課長 昭和62年に委員会を設立し、寄附金や町の補助金等で高津嘉山に飛び安里初飛行顕彰記念碑を造る事業が行われた。



人類で初めて大空を飛ばたい飛び安里の碑

歩道の早期整備を

問 国道東バイパスから国道507号に入った歩道が整備されていない。早期の工事を要請できないか。

経済建設部長 歩道舗装工事を10月に発注予定である。白色透水舗装の計画で6工区に分けて津嘉山トンネルまでの区間になる。

早期の電柱移動を

問 兼城十字路から首里向け赤嶺マンション前信号から宮平向け入口の電柱を移動できないか。

経済建設部長 沖縄電力、南部土木事務所と移設工事に合意した。12月までには移設する。

問 肺炎球菌ワクチンの実施状況と推移、効果は。

民生部長 接種は75歳以上の方と65歳〜75歳未満で一定の障がいがあると認められた方が対象である。昨年10月から後期高齢者医療広域連合からの補助金を活用し、事業実施している。定期接種ではない。対象人数2千192人の20%、438人を見込んでいたが、88人の接種となっている。接種後4年間は効果が残り、感染予防と重症化防止に寄与する。

問 子宮頸がんワクチン接種の状況は。

民生部長 ワクチンは3回接種である。平成23年度の対象者は840人に対し、1回目716

人、2回目は686人、3回目は584人が接種している。20年ほど効果が持続すると言われており、接種により予防できる数少ないがんである。

問 児童・生徒に対するワクチン接種にはどのようなものがあるか。

民生部長 子どもの予防接種は法律に基づく定期予防接種が6種類ある。それ以外に、希望により受ける任意接種として子宮頸がん、ヒブ、小児用肺炎球菌ワクチンの3種類を実施している。

人間ドックを問う

問 一般健診と人間ドックの比率はどうか。

民生部長 人間ドックは40歳以上が対象である。平成23年度の一般健診と人間ドックの比率は66対34で、過去3年間の比率は同率の推移となっている。

問 人間ドックの効果は。

民生部長 6医療機関と契約しており、町民が受診すると健診結果が町に届くことに



赤嶺 雅和 議員

本町のワクチン接種と効果は



ちむぐくる館や各自治会で集団健診も実施しています

こんな質問もしました

●保育園、幼稚園、小中学校での障がい児支援を問う

町長 健康づくりは毎日歩くこと、動くことが基本だと思っている。保健師などが健康指導をすることもある。

町職員の勤務状況は



赤嶺 奈津江 議員

問 職員の残業時間と時間外手当の金額は怎么样了っているか。

副町長 平成23年度は、残業手当の支給対象職員174名に対し、総時間数で2万3千25時間、金額にして5千106万6千円であった。

問 部署により時間外勤務の差はあるか。多い課はどこか。

副町長 平成23年度は一人あたりの平均残業時間数は132時

間。各課間で多少の差はある。
総務課長 教育総務課、企画財政課、学校教育課、税務課の順で多い。

問 特に多い職員は年間どのくらい時間外勤務をしているのか。

総務課長 上位5名の職員の時間外勤務は、672時間、621時間、585時間、579時間、565時間の順となる。

問 権限委譲や人口増加などで、業務が増加している。住民サービスを充実するために、時間外手当を出すより、人員を増やした方がいいのではないか。

町長 地方分権で業務が増えても、効率的に町民サービスが行えるよう努力を尽くしている。人口増加による職員定数の見直しも行うが、現時点においては適正だと考えている。

北丘小のリフォームについて問う

問 リフォームすると聞いているが、どの程度を予定しているか。金額については、どのくらいを考えているか

教育長 事業費としては、約4億円程度を予定している。



補修ではなく、建て直しを求める北丘小学校

問 建て直しをすることに何が支障となっているのか。

教育長 昭和57年以降の新耐震基準適用後の校舎となる。県の方針は耐震対策の事業が優先となるため、改築事業には該当しない状況である。

熱中症対策にミストシャワーを



浦崎 みゆき 議員



細かい霧で暑さを和らげるミストシャワー

問 ミストシャワーは水道水をノズルから霧状に噴射し、気化熱で周辺の温度を下げる効果があり、グラウンドと校舎の間などに設置するものである。例えば、グラウンドで遊んで校舎に入る時など、ミストシャワーにあたると気分転換が図れ、体感温度も下げる効果がある。しかも安価で導入できる。ミストシャワーを各学校に設置できないか。

教育長 学校ではゴーヤー等でグリーンカーテンを作った

り、窓の開閉により、風を取り入れるなど、涼しくなるよう工夫している。ミストシャワーに関しては、調査研究していきたい。

防災・減災対策を問う

問 電柱に避難所や海拔表示ができないか。

副町長 予定していない。

問 災害時の疑似体験ゲームができる「避難所HAG（ハグ）」を取り入れた活動を展開できないか。

副町長 提案の避難所HAGは、適切な避難者の配置や仮設トイレなど生活空間の確保など避難所で起こるさまざまな出来事に対処できるよう模擬体験をしながら避難所運営を学ぶものである。調査しながら取り組めるか検討する。

妊婦・婦人健診を問う

問 双子妊娠などに公費による健診回数を増やすことはできないか。

民生部長 平成21年度より妊婦健診の回数は5回から14回に増やした。14回健診を受けている方は全体の3割程度になっており、回数増については厳しい。

問 子宮頸がん検診にHPV（ヒトパピローマウイルス）検査を取り入れることはできないか。

副町長 厚生労働省の動向を注視しながら検討する。

こんな質問もしました

● 混合名簿の導入の現状と課題は



宮城 寛諄 議員

地域ニーズに沿った農業振興を

問 農山漁村活性化プロジェクト支援交付金にはどのような事業があるか。山川地区にはどの事業を行うのか。水利組合の総会で決定された事項に沿って事業を進めてもらいたいかどうか。

経済建設部長 農業用排水施設、農業用道路、客土、農用地造成、農用地保全等が主な事業である。山川地区には、配管類の再整備、ファームポンドへの屋根設置や通路整備、送水用ポンプの整備などを考えている。太陽光発電施設と農用地保全等の整備要請につ



整備が予定されている山川ファームポンド

いては、今後検討していきたい。
問 土地改良後、30年近くなリ、反収が上がらない。土壌の改良が必要ではないか。
町長 何が一番有効なのか、いろいろな角度から考えていきたい。

南葬祭場の道路建設は必要か

問 交通渋滞が起こるということで地域から道路の要望があったと聞いている。斎場を新しくすると渋滞が予想されるのか。3本の道路がなければ火葬場が成り立たないというところではないと思う。必要性はどこにあるか。

副町長 玉城火葬場の閉鎖により、一箇所に集中するので、交通量も増す。都市計画決定は周辺住民の合意形成が重要視される。住民から道路建設

の強い要望が出されているため必要である。

問 今、構成6市町の各火葬場利用者は、豊見城1千200名、いなんせ250名、玉城が280名いる。集中すると渋滞というが、平成34年のピークで1千677名の予想となっている。今より少ない利用となるので再検討を強く要望する。
(答弁求めず)

オスプレイ配備反対

問 配備反対運動をどう進めていくか。署名運動を進めてはどうか。

町長 実行委員会として、どういう形で署名運動をやるか検討したい。

こんな質問もしました

● 山川入口信号機の表示を正しい名称に

今年度内諾の取れていない一括交付金事業はどうなる

問 79事業のうち、22事業が内諾を得られていない。必要な事業だということで提案していると思うが、今後の展開はどうなる。

企画財政課長 財源が付かなくてもやるべき事業があり、今後も継続して事業展開を進めたい。

こんな質問もしました

● 一括交付金で実施計画、施策の優先順位は前進したか
● 今後の実施計画策定にどう整合性を付け、評価・事業化するのか
● 実施計画以外の要望、事業も優先順位をつけて公表を

職員の資質向上を図れ



照屋 仁士 議員

問 平成23年度は約120億円もの事業が本町で展開されている。施策や業務が効率的かつ有効に遂行されるには、議会はもちろん、職員のさらなる資質向上が不可欠である。指導体制や職員研修は十分か。

総務部長 官民の主催を問わず職員の資質向上に寄与するものであれば派遣している。今のところ不足の状況ではない。

問 自治会ボランティアがでないか。

総務部長 町長は事あるごとに呼びかけており、職員は十分認識をして地域行事や体協のみならずいろいろな団体活動に参加している。

問 企業・団体対象の研修への参加を検討できないか。
総務部長 積極的に関わって派遣したい。



新システムを学ぶ職員研修

問 臨時職員は一定期間しか雇用ができない。臨時職員にも研修の枠を広げて、その後の就職の際に即戦力になるよう取り組めないか。

総務課長 業務の上で手ほどきし、育てていきたい。

問 業務に追われ活動に取り組む時間がないという声も聞こえてくる。本当に学びたい、体験したいという職員をバックアップする考えでよいか。

総務部長 すべての部課長でバックアップに取り組む。



玉城 勇 議員

生活困窮者の支援を

問 町内の生活困窮者を把握しているか。

民生部長 生活困窮の相談を受けたら、関連機関と連携して把握につとめている。

問 生活支援が必要な町民や医療機関の支払い等が厳しく、病院に行けない町民はいないか。

民生部長 関連する機関と連携し、生活保護、長期療養者に対する生活支援費の支払い及びたすけあい金庫の貸付など各種サービスにつなげ、相談を受けた方々、生活困難者に支援を行っている。

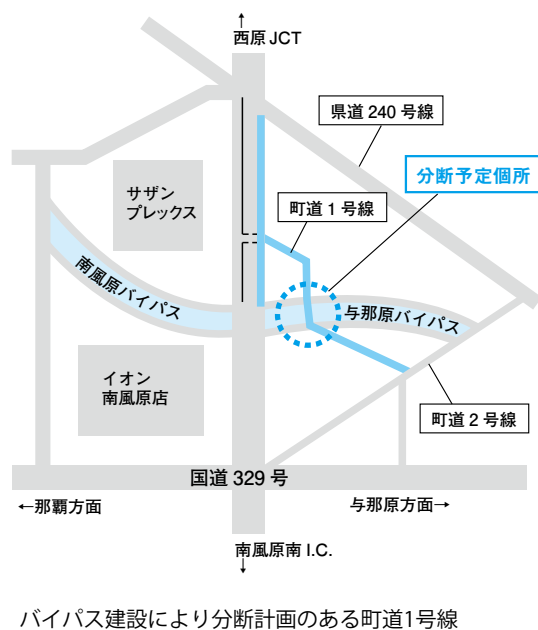
問 生活保護申請の手続きはスムーズに行われているか。

民生部長 概ねスムーズに行われている。早めに保護費の支給ができるよう、生活関係書類を添えて南部福祉保健所へ生活保護の申請を速やかに行っている。

町道1号線を復活させるには

問 与那覇区も宮城区も1号線を復活させて欲しいと評議員会の決議の下に要請している。協議に入るために、地域要望として南部国道事務所に町から要請書を出してもらいたいがどうか。

経済建設部長 要望があったように、率先して一緒にテールにつけるよう調整したい。復活できる、できないは別の



宮城公園整備について

問 宮城公園に周回園路の設置を求める。

経済建設部長 今後各事業の進捗状況を見極めたうえで、検討したい。

話で、国道側と協議ができるよう町から声掛けをすることはできると思う。

バス停の屋根やベンチの整備を求める

問 6月議会で答弁したバス停の整備に関する要望を出したか。

経済建設部長 国の南部国道事務所、県の南部土木事務所に文書にて要請した。それぞれの事務所とも検討するとの返答であった。

こんな質問もしました

- 図書館の充実・改善を
- 住宅リフォーム助成制度の継続、拡大、改善を
- 津嘉山保育園近くに信号機設置を
- 文化センター前の店舗棟は無駄ではないか

保育料軽減など保育行政の拡充を



大城 毅 議員

問 公立、認可、認可外保育園の保護者からいただいたアンケートをもとに質問する。アンケート回答のほとんどが保育料を高いとしている。保育料をもっと保護者負担の軽いものにするよう取り組みないか。

民生部長 本町は、国基準より一部軽減した保育料になっている。平成23年度は国基準保育料との比較で5千880万円を軽減している。保護者負担のさらなる軽減は現在のところ厳しい。

問 待機児童を解消するため、認可園のさらなる増園を図るべきではないか。

民生部長 本町では安心こども基金保育所緊急整備事業を活用し、認可保育園の増改築で定数増を予定している。平成22年で定員1千50名だった

入園年度	定員数	増改築対象の保育園	増員数
平成 23	1,140 名	津嘉山	90 名 (各30)
		なのはな	
		わかなつ	
平成 24	1,140 名	—	—
平成 25	1,230 名	さんご	90 名 (各30)
		はえばる	
		はなぞの	
平成 26	1,260 名	ていだ	30 名

問 認可外保育園の保護者からは「夏場にクーラーの電気代が加算される」との声もある。認可外保育園の果たしている役割にふさわしく助成を充実すべきではないか。

民生部長 平成24年度に、運営補助金の増額や補助項目の追加などを行い、助成の充実に努めている。

問 本町は近年に見ないヨーロッパ型の都市形成が進んでいる。立地条件も整い、今では県都那覇市に負けないほどのまちになってきている。そこで、本町を県内で12番目の市に昇格させて、南部に羽ばたき光輝く大都市の扉を開くことができないか。

町長 人口、市街化区域などいろいろな面で要件を満たしていない部分があり難しい。

かすり会館移設を今すぐに

問 琉球絨は本町の地場産業で、400年以上の歴史と伝統がある。さらなる継承発展のため全国や世界への販路拡大が望まれる。しかし、現在のかすり会館は場所が不便で狭いため観光客などの誘致が困難である。観光バスの乗り入れができる広大な場所に移設で



玉城 光雄 議員

市への早期昇格を実現せよ

きないか。

町長 絨組合からも強い要望がないので、移設は考えていない。

大展望台の設置を

問 那覇・南風原クリーンセンター周辺のまちづくり事業の一環として、沖縄の空、東西に澄み切ったコバルトブルーの海、太平洋の輝き溢れる朝日が一目で見通せるよう



宮城水利組合のファームポンド

問 本県の琉球舞踊や三線、エイサーは個性的で誇れる芸能である。沖縄を観光立県で成り立たせるために、昔から今日まで育っている伝統芸能に若者が興味を抱き、より盛んに広めていく必要があることから、県立郷土劇場を本町に誘致できないか。

教育長 町民からの要望や意見もないため、誘致について考えていない。

郷土文化の推進を図れ

町長 水利組合との話し合いをしなければいけないと思う。

ながら観光振興を目指す。

問 観光振興にもITを使いこなすノウハウがないと時代にそぐわない。情報関係の専門家との連携強化をどう考えるか。

企画財政課長 情報化の波はすごい勢いで来ている。本町もそれに乗り遅れないよう、今後検討していきたいと考えている。



母子寡婦世帯へのパソコン教室(町社会福祉協議会)

観光のまち南風原を目指して

問 アニメ、映画、音楽、文化情報を集積したコンテンツが最も価値が高く、一番マーケットが大きい。新しい時代に沿った産業振興を図るべきだと思うがどう考えるか。

総務部長 本町は観光産業が生まれたばかり。優れたもの、特徴的なものを発見し、育て

こんな質問もしました

- 長寿のまちを目指し、先進地視察や対策を
- 医療費の負担削減を含めた抜本的対策を

貧困の連鎖を止める支援を

問 経済格差が教育格差を生んでいる。子ども達への支援対策は。

教育長 就学援助制度を実施している。学用品費から修学旅行費までの5項目が対象であるが、平成24年度からクラブ活動費、生徒会費、PTA会費も追加した。今後も支援していく。

教育部長 平和学習や国際交流(今回はハワイ)についても、困窮世帯は負担金なしの取り組みをしている。

民生部長 無料塾も委託して行っている。

問 負の連鎖を止める観点から、教育支援は充実してきたと思うが、その後の職の支援につなげる取組の強化をどう考えるか。

民生部長 就労に関する講演会や雇用対策事業などを行っている。パソコン講習会、介護資格、調理師免許などの案内をし、スキルアップして雇用につなげる形を取っている。



大城 信彦 議員

町民の 声

議会の取り組みに期待!

字照屋
上地 安郁さん
(民生委員・児童委員)

政治って何だろう?

今、多くの国民が感じていると思います。国政の混迷は政治不信を招いています。地方議会については、「議員は何をしているの?」「議会って必要?」などの声を聞きます。地方議会は身近にあるにも関わらず、残念です。

そんな中、本町議会は活性化に取り組んでおり、4月に行われた活動報告会では、各議員が議会活動に真摯に取り組んでいる様子うかがえました。

議員16名で3万人余の声を吸い上げることは大変だと思いますが、各種団体との連絡会や青年・女性・学生など各層に議場を

提供し、声を聞くしくみを作ってはどうか。工夫し、町民に開かれ、親しめる議会にしてほしいと思います。

町民の声を行政に届ける大事な議会です。政治の信頼回復は地方議会からです。なぜなら課題は現場にあるからです。

特に、母子政策は重要課題の一つだと思います。作家アンドレ・モロワは「政治は母と子のためにある」と言いました。平和の象徴である母と未来の象徴である子を守ることに政治の原点だと思います。

日々、奮闘する議員のみなさんに期待します。

高齢者叙勲を受章



大城 勇康氏(字兼城)

議員として3期12年にわたり地方自治の発展に貢献し、国から表彰されました。

町村議会議長会長

南風原町から初めての就任



中村 勝 議長

県内 30 町村で構成する沖縄県町村議会議長会の会長に10月10日就任しました。

次回定例会予定

12月4日(火) 午前10:00

広報委員会

●委員長

金城 好春

●副委員長

知念 富信

●委員

照屋 仁士

大城 毅

浦崎みゆき

上原喜代子

編集後記

先日、読谷村の議会報告会を見学してきました。

議員との意見交換の中で、村民の方々から「議会広報が読みにくい」「もっと詳しく知りたい」など、多数の意見が寄せられていました。南風原町においても、同様の意見があるのではないのでしょうか。

私たち広報委員会は、常に「誰にでもわかりやすく」を心がけて編集しております。やはり町民の皆様がどう感じているのかはとても気になるところです。

現在、南風原町議会においても議会基本条例制定に向け、実のある改革案が議論されています。

「どの市町村よりも町民に近く」を目指しています。どうぞご期待ください。

(担当/照屋仁士)